



まちの出来事

考えるバスケ伝授・東野智弥さん
「クラッシュャー」バスケットボールキャンプ
中・高校生130人に熱血指導

北海道のプロバスケットボールチームとして昨年誕生したレラカムイ北海道のヘッドコーチで、現役時代のプレースタイルから「クラッシュャー」と称される東野智弥さんによる「クラッシュャー・バスケットボールキャンプ・IN紋別」が4月5日から6日までスポーツセンターを会場に行われました。遠紋地域の中・高校生130人がバスケットボールの楽しみ方や練習に対する考え方を東野さんから指導を受けました。

同キャンプは東野さんが渡米していた1997年にアメリカで活動するコーチ陣を日本に招いて開催したのが最初で、以来名称を変更しながら



現在まで続いています。小学生から高校生までを対象とした同キャンプの参加者は、現在まで10万人に上っているそうです。

今回の開催は、来年が紋別バスケットボール協会の60周年であることや、今年の高体連のバスケットボールの管内

死亡事故の再発防止！ 模範運転で市内をパレード

「ストップ・ザ・交通事故死」をめざせ。安心で安全な車社会。北海道を「をキャッチアップ」に、春の全国交通安全運動（4月6日～15日）が行われました。紋別警察署や市紋別地区交通安全協会などの関係者70人ほどが参加し、車両50台によるセーフティコーン車両パレードが市海洋公園迎賓館前からオムサロ駐車場まで実施されました。

出発式では、紋別警察署の住健一署長が「道内の9日現在の死亡者は35人で、昨年からは大幅に減少している。紋別では既に昨年と同じ件となっている」と、より一層の交



通安全への意識向上が必要であると説き、あわせて夏に開かれる北海道洞爺湖サミットに関する警備への協力も呼び掛けていました。

春の交通安全運動

弁護士業務をバトンタッチ
紋別ひまわり基金法律事務所
所長交替

紋別ひまわり基金法律事務所所長、大窪和久弁護士が4月10日付で退任したことに伴い、大窪弁護士と後任の大窪未緒弁護士と関係者が11日、市役所を表敬訪問しました。大窪弁護士は、3年間を振り返り「楽しく仕事をさせていただいた」と述べ、後任の大窪未緒弁護士は、相談数が多く相

大会が紋別市で開催されることから、少しでも地元の子どもたちに大会で好成绩を収め

てほしいとの願いで実現しました。

枯れ枝や落ち葉を回収 紋別ライオンズクラブ

紋別ライオンズクラブ（尾崎富二郎会長）の会員15人が4月13日、紋別公園内でボランティア清掃活動に汗を流した。同クラブは一昨年からは、公園を管理する市に申出て清掃活動を行っています。オホーツク海と紋別の街並みが一望できる同公園は、散歩やウォーキングなどを楽しむ人たちの憩いの場となっていることから、市民に気持ちよく利用してもらおうとボランティアで行っているものです。

会員は熊手や火バサミなどを手に、展望台周辺から青年の家までの園内一帯を回り、冬場に落ちた枯れ枝や枯れ葉を回収。勾配のある園内でし

